

[okazaki\_101]

活動タイトル	札幌市環境プラザ施設見学での省エネ講座
実施日	2017年12月15日
場所	札幌市環境プラザ ハウススタジオ (札幌市)
対象数	12人 (大学1年生)
内容	<p>「身近な生活の科学を学ぶ」というテーマの講義の一環として実施。</p> <p>最初に座学で、京都議定書とパリ協定について、温暖化の現状、日本の温室効果ガス排出削減目標や緩和策としての熱中症対策などについてクイズを交えて解説。その後、ハウススタジオにある家電の消費電力を調べながら、定格消費電力の表示の見つけ方 (冷蔵庫は庫内のドアポケット、電子レンジは横、テレビは裏側、ものによっては取り扱い説明書) を確認しながら、ハウススタジオの消費電力モニターやワットチェッカーで測定した。</p> <p>(測定：蛍光灯、LEDシーリングライト、白熱電球、LED電球、テレビ、掃除機、ドライヤー)</p> <p>また、環境プラザに展示してある断熱材模型や保温調理ミニチュア、窓についても、解説した他、トイレや流し、浴槽では水の使用についても触れるようにした。</p> <p>ハウススタジオの見学の後は、準備した省エネグッズについて、簡単に解説した後、学生一人一人が引いた番号に該当する省エネグッズ等の省エネやエコのポイントについて、配布資料や参考資料も活用して、A3用紙に記載するワークを行い、それぞれが発表することとした。今回は、省エネだけでなく、エコについて考えたいというグループもあったため、フェアトレードのハーブティーとチョコレートも内容に入れました。</p> <p>配布資料： 実践！おうちで省エネ (北海道経済産業局)、スマートライフおすすめ BOOK (一般財団法人家電製品協会)、E・E ミニガイド (NPO 法人北海道グリーンファンド)</p> <p>「話を聞くだけではなく、実際に動いてみたり、考えたりすることができたので、良かったと思います。」「とてもたくさんこれから使えることを教えて下さったので、これから試して行こうと思いました」「待機電力がある家電もあるのでコンセントを付けたままにしないことや、トイレの節電についても意識して家の設定を見てみたいなあと思いました。</p> <p>お風呂をわかすにしても、ご飯をつくるにしても様々な面で電力を使うということがわかったので、考えてやりたいと思いました。シャワーヘッドを交換して省エネを考えたいです。」などの感想があり、概ね、成果があったのではないかと思った。ただし、ワークの部分で、「商品紹介のポスターを書いたこと」が印象に残ったとする学生がいた一方、「品物の説明を考えるよりは、もっといろいろなことを見たり聞いたりしたかった」という学生もいたため、ワークの内容をもう少し工夫する必要があると思った。</p>

実施写真等

